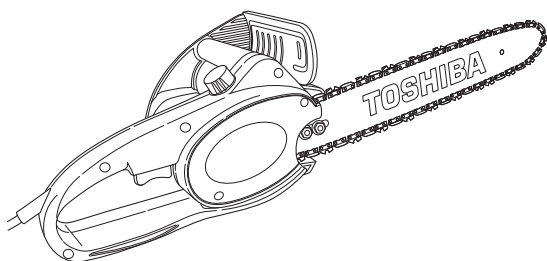
TOSHIBA

東芝電気チェーンソー
取扱説明書

形　　名

HC-255A(250mm)
HC-305B(300mm)
HC-355B(350mm)

二重絶縁

もくじ

- このたびは、東芝電気チェーンソーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警　告

1）作業場は、いつもきれいに保ってください。

●ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2）作業場の周囲状況も考慮してください。

●電動工具は雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。

●作業場は十分に明るくしてください。

●可燃性の液体やガスのある所では使用しないでください。

3）感電に注意してください。

●電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4）子供を近づけないでください。

●作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

●作業者以外、作業場へ近づけないでください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警　告

5）使用しない場合は、きちんと保管してください。

●乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

6）無理して使用しないでください。

●安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7）作業に合った電動工具を使用してください。

●小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。

●指定された用途以外には使用しないでください。

8）きちんとした服装で作業してください。

●だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。

●屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

●長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9）保護めがねを使用してください。

●作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10）防音保護具を着用してください。

●騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

11）コードを乱暴に扱わないでください。

●コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。

●コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

12）加工する物をしっかりと固定してください。

●加工する物を固定するために、クランプや万力等を利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

13）無理な姿勢で作業をしないでください。

⚠ 警　告

● 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

14）電動工具は、注意深く手入れをしてください。

● 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

● 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

● コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所もしくは全国各地の東芝電動工具サービスショップに修理を依頼してください。

● 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

● 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

15）次の場合は、電動工具のスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

● 使用しない、または、修理する場合。

● 刃物、トイシ、ビット等の付属品を交換する場合。

● その他危険が予想される場合。

16）調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

● 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

17）不意な始動は避けてください。

● コンセントにつないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。

● 差し込みプラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

18）屋外使用に合った延長コードを使用してください。

● 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

19）油断しないで十分注意して作業を行ってください。

● 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等に十分注意して慎

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警　告

重に作業してください。

● 常識を働かせてください。

● 疲れている場合は、使用しないでください。

20）損傷した部品がないか点検してください。

● 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するかまた所定の機能を発揮するか確認してください。

● 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。

● 損傷した保護カバー、その他の部品の交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに修理を依頼してください。

● スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

21）指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

● 取扱説明書及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。

22）電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

● 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。

● 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップに依頼してください。

修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

□二重絶縁について

電気の流れる所と本体との間が異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。
本機は二重絶縁構造となっており、銘板に回マークで示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。
電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または弊社営業所もしくは全国各地の東芝電動工具サービスショップにご相談ください。

チェーンソーご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、チェーンソーをご使用の際には、さらに次に述べる警告・注意事項を守って下さい。

⚠ 警　告

1）**使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

2）**チェーンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。**
感電の恐れがあります。

3）**使用中は両手で確実にハンドルを保持してください。**
機体がはね返り、けがの原因になります。

4）**ソーチェーンは取扱説明書に従って正しく取付けてください。**
誤った取付け方をしますと、ガイドバーからソーチェーンが外れ、けがの原因になります。

5）**はしごや木に登って作業をするなど、不安定な姿勢で使用しないでください。**
けがの原因になります。

6）**肩の高さより高い位置で使用しないでください。**
けがの原因になります。

7）**ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。**
機体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。

8）**使用中は、ソーチェーン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

9）**使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。

10）**誤って落としたり、ぶつけたときは、ソーチェーン、ガイドバーや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

11）**（事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。**
（関連法令：労働安全衛生法　第59条３項、安全衛生特別教育規程　第10条の２、労働安全衛生規則　第36条８号の２）。

チェーンソーご使用に際して（つづき）

⚠注　意

1）**使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちにプラグを電源から抜いてください。**
感電の恐れがあります。

2）**使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、ソーチェーンがむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。**
けがの原因になります。

3）**スイッチを入れるとき、ソーチェーンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。**
機体が引張られたり戻されたりして、けがの原因になります。

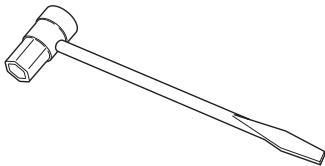
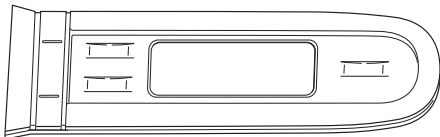
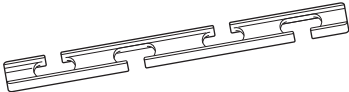
4）**作業中は、常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履物は滑りにくいものを着用してください。**
けがの原因になります。

5）**材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。**
ソーチェーンが石などに当たると、けがの原因になります。

6）**切断材料は、確実に固定してください。また切落とし材に十分注意してください。**
けがの原因になります。

7）**切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。**
ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。

□キックバックについて

キックバックとは、ガイドバーが運転中に急激に後方と上に押されることであり、このときガイドバーは跳ね上がり作業者の方に突き戻され非常に危険な状態になります。キックバックの原因はソーチェーンの回転中にガイドバーの先端部が異物に接触したときや、木にガイドバー先端部が挟まれたときに起こります。
キックバックの危険を低減するために、取扱説明書の注意事項を必ず守ってください。

各部のなまえ

フロントハンドガード
オイルタンクキャップ
ロックボタン
ソーチェーン張り調整ネジ
爪
スイッチ引金
オイル量点検窓
フロントハンドル
ハンドル
電源コード
回転方向
差し込みプラグ
ソーチェーン
ガイドバー
リヤハンドガード
ガイドバー取付ナット
スプロケットカバー

付属品

仕　様

形　　　　　式	HC - 255A	HC - 305B	HC - 355B
使　用　電　源	単相交流50－60 Hz共用　電圧100 V		
全　負　荷　電　流	9.3 A		
消　費　電　力	900 W		
有　効　切　断　長　さ	250 mm	300 mm	350 mm
ガイドバーサイズ	255 mm（10″）	305 mm（12″）	355 mm（14″）
ソ　ー　チ　ェ　ー　ン	91VG - 39E	91VG - 45E	91VG - 49E
ソーチェーンスピード	9 m/s（540 m/min）		
質　　量（コード不含）	2.3 kg	2.4 kg	2.5 kg
オイルタンク容量	35 mL		
電　源　コ　ー　ド	2心キャブタイヤコード0.2m	2 心キャブタイヤコード　2. 5 m	

点　検

東芝電気チェーンソーをお買い上げになりましたら、下記の点について、お調べください。

●輸送の途中で損傷した箇所がないか。

●機種は、ご注文通りのものか。

●付属品が全部そろっているかどうか。

　万一不具合な点がありましたらお買い上げの販売店へご連絡ください。

用　途

●丸太、角材などの木材の切断

正しい使い方

□ご使用前の準備

●**漏電しゃ断器の設置をおすすめします。**

二重絶縁構造製品は法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●**作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。**

⚠ 警　告

●**延長コードは、損傷のないものを用意してください。**

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さmm^2	最大の長さm
1.25	15
2	25

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用下さい。

□ご使用前の点検

⚠ 警　告

- **スイッチが切れていることを確かめてください。スイッチが入っているのを知らずに差し込みプラグをコンセントに差し込むと、不意に起動し思わぬ事故のもとになります。**
- **必ず銘板に表示されている電圧で使用してください。**
  100V品を200Vで使用するとモータの回転が異常に高速となり機体が破損するおそれがあり大変危険です。
- **ソーチェーンの張りを確認してください。**
  ソーチェーンの張りの調整が悪いとガイドバーの異常磨耗やソーチェーンの外れ・キックバックなどの原因になります。調整はソーチェーンの張り調整の方法の項（10ページ）を参照ください。
- **チェーンオイルをオイルタンクへ給油してください。**
  オイル切れは故障の原因となります。オイルの給油方法の項（11ページ）を参照してください。
- **電源コンセントの点検をしてください。**
  差し込みプラグを差し込んだとき、ガタガタだったりすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。
- **試運転を行ってください。**
  作業前には人のいない方に向けて試運転し、異常な音や振動やガタがないか確認してください。

正しい使い方（つづき）

□使い方

⚠ 警　告

このチェーンソーを運転する前に、この取扱説明書を必ず全てお読みください。このチェーンソーを間違った方法で使用すると、重大な事故となる場合がありますのでご注意ください。

①ソーチェーンの張り調整方法

⚠ 警　告

- **ソーチェーンの張りはいつも適正な状態にしてください。**
  ソーチェーンの張りがゆるいとソーチェーンが外れけがの原因となります。また、きついとモータやガイドバーに異常な負荷がかかり発熱してやけどや故障の原因となります。
- **ソーチェーンの刃は鋭いので取り扱いのときは必ず保護手袋を着用してください。**

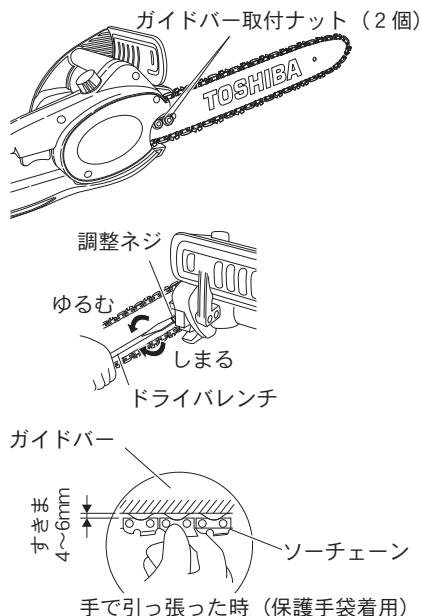
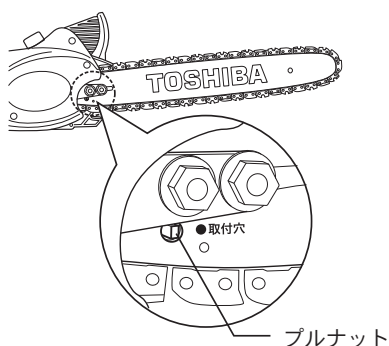
⚠ 注　意

- **新品のチェーンの場合初期伸びが発生しますので、試運転を数分間行った後点検してください。また新しいうちは、こまめに点検してください。**
- **ガイドバー取付ナットの締付け、ゆるめの際は、標準付属のドライバレンチを使用してください。標準付属以外の工具を使用しますと、本体が破損する恐れがあります。**

●付属品のドライバレンチのレンチ側でガイドバー取付ナット２個を少しゆるめてください。

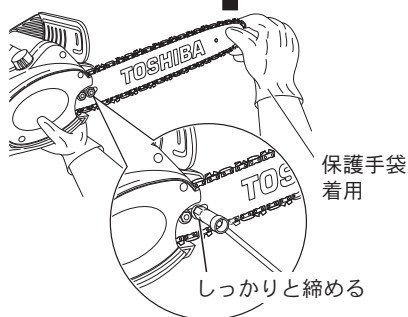
●付属品のドライバレンチのドライバ側で調整ネジを回して、ソーチェーンの張りを調整します。
調整ネジを右に回すとソーチェーンは張り、左に回すとゆるみます。

●ソーチェーンの張りは、ガイドバーの中央部で、ソーチェーンを引張った時に図のように、ソーチェーンの底とガイドバーとのすきまが4～6mmの範囲になるように調整してください。

手で引っ張った時（保護手袋着用）

●調整ネジに付属しているプルナットがガイドバーの取付穴にはめこまれているか確認してください。

●調整が終わったら、付属品のドライバレンチのレンチ側でガイドバー取付ナット２個をしっかりと締め付けてください。

注 このときガイドバーを上方に引いた状態で締付してください。

●人のいない方に向けて試運転をしてください。

注 異常な音や振動やガタがないか確認してください。

②チェーンオイルの給油方法

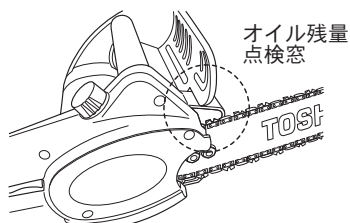
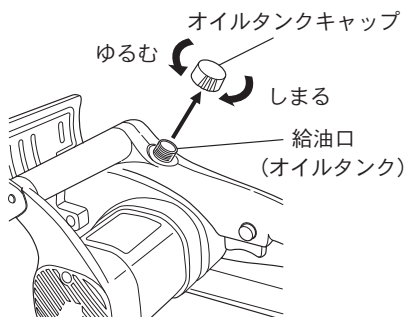
●オイルタンクキャップを左に回して外してください。

●給油口からオイルを入れてください。

●オイルタンク容量は、35mLです。
付属品のチェーンオイル全て（95mL）は給油できないためあふれないように注意してください。

注 チェーンオイルは東芝純正のチェーンオイル、市販のチェーンオイルまたは、エンジンオイル（SAE30）を使用してください。

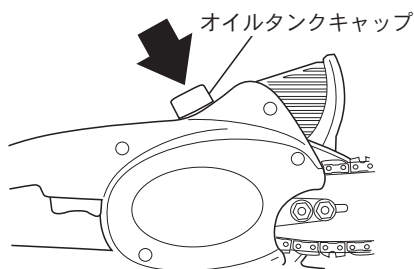
●オイルタンクキャップを右に回して閉めてください。油漏れ防止の為に、しっかりと閉めてください。

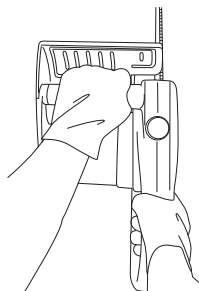
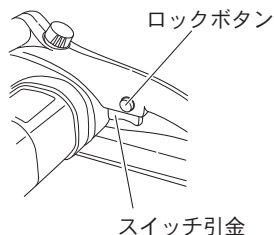
●オイルの残量は、図の点検窓で確認してください。

正しい使い方（つづき）

③ソーチェーンへの給油方法

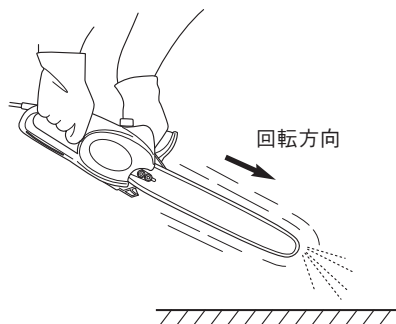
⚠注　意

チェーンオイルはガイドバーの上をソーチェーンがスムーズに動くために必要なものです。
潤滑が不十分ですとガイドバーやソーチェーンの早期磨耗などの故障の原因になりますので、使用前後、使用中にオイルタンクキャップを押して十分に給油してください。

●オイルタンクキャップを押すとソーチェーンの部分にオイルが吐出されます。
●使用前に必ず１回以上オイルタンクキャップを押してください。
●使用中も状況に合わせてオイルタンクキャップを押して給油してください。

給油の確認の前に…

④チェーンソーの持ち方
図のように両手でしっかりと保持してください。

⑤スイッチの操作方法
●ロックボタンを押しながらスイッチ引金を引いてください。
ソーチェーンが回転します。
ロックボタンを押さないとスイッチ引金が引けないオフロックスイッチです。
●引金をはなすと回転が止まります。

⑥チェーンオイル給油の確認

チェーンオイルがガイドバーとソーチェーンに行き渡っているか確認してください。図のように、木材やコンクリート面などに向けて運転して、オイルが飛散すればオイルが回っています。

㊟２～３分回転させながらオイルタンクキャップを押して給油しても､オイルが飛散しない場合は、オイルの吐出口周りに切粉がたまっていないか確認し、その周辺を掃除してください。

⑦切断の方法

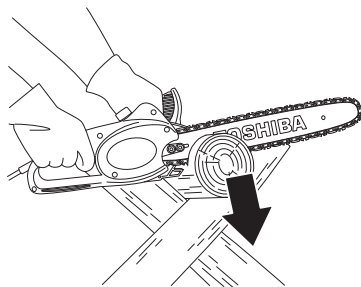
⚠警　告

- **使用中は両手で確実にハンドルとフロントハンドルを保持してください。**
  機体がはね返り、けがの原因となります。
- **チェーンソーの延長線上に体を置かないようにしてください。**
  キックバックが起きたとき危険です。
- **使用中は、ソーチェーン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。**
  けがの原因になります。
- **ソーチェーンを取扱うときは、保護手袋を必ず着用してください。**
- **ガイドバーの根元部分で切断してください。**
  また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないようにしてください。
  先端部分で切断しますと、機体がはね返り（キックバック）けがの原因になります。
- **切断材料は、地面やその他の物から出来る限り離して固定してください。**
  ソーチェーンが、地面やその他の物に接触すると、けがの原因になります。

⚠注　意

- **スイッチを入れるとき、ソーチェーンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。**
  機体が引張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
- **軽い切断材料は、台の上などに置いて確実に固定してください。**
  また切落とし材に十分注意してください。けがの原因になります。
- **切落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。**
  ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。
- **ご使用後、スプロケットカバーをP15⑨に記載の方法で取り外し、スプロケットカバー内部の切り粉や枝を取り除いてください。またスプロケットカバー内部の掃除をするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**

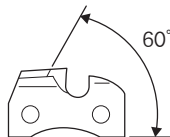
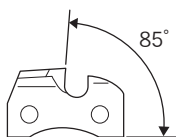
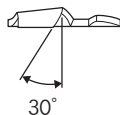
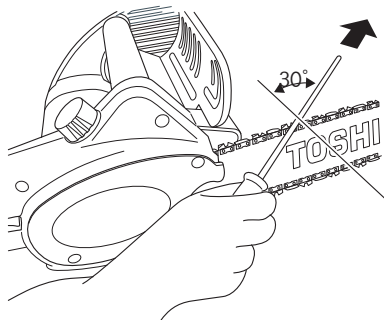
正しい使い方（つづき）

●ハンドルとフロントハンドルを両手でしっかり保持してください。
●ソーチェーンが材料などに当たっていないことを確認してロックボタンを押しながらスイッチ引金を引いてください。
●ソーチェーンが最高速度になるまで、そのまま保持してください。
●ゆっくりとソーチェーンを切断材料に押し当ててください。
●無理に押しつけたり、こじったりしないでください。
●完全に切断してから、スイッチ引金をはなしてください。

⑧ソーチェーンの目立て方法

⚠ 警　告

● **ソーチェーンの刃は鋭いので取り扱いのときは必ず保護手袋を着用してください。**

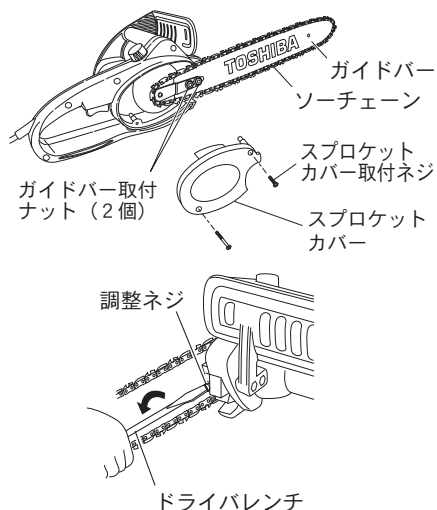
ソーチェーンは常に鋭い状態に保ってください。速く安全に切断できます。ソーチェーンが鋭くないと本機の寿命を縮めます。もし力を入れないと切り込めないときや、大きい木片がほとんど出ないで鋸くずだけが出るときは、目立てをしてください。

●ソーチェーンの張りを適正に調整してください。
●チェーンソー本体を固定してください。
●直径４mmの丸やすり（市販品）を使用して刃の角度（30°）をそろえて目立てしてください。
●丸やすりはカッターの内側から外側へ向けてかけてください。丸やすりを２～３回前方に押し出すだけでカッターは鋭くなります。
●目立ては、左右のカッターの片方のみをまず目立てし、その後残りの一方を目立てします。
●カッターの刃は図のように目立てしてください。

⑨ソーチェーンの交換

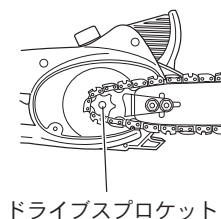
⚠ 警　告

- **交換時は必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。**
  不意に起動し、けがの原因となります。
- **ソーチェーンを取扱うときは、保護手袋を必ず着用してください。**
- **ソーチェーンは取扱説明書に従って正しく取付けてください。**
  不完全な取付け方をしますと、けがの原因になります。
- **ソーチェーンは仕様に明記してある正しいタイプのものをご使用ください。**
  異なったタイプを取付けますと、けがの原因になります。
- **組立後、十分な点検を行ってください。**

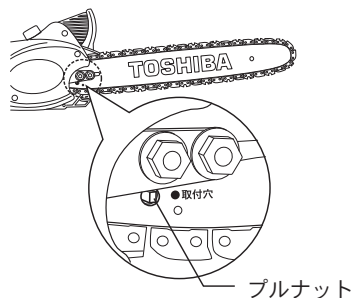
ソーチェーンの取り外し

- 市販の＋ドライバーを使用して、スプロケットカバー取付ネジ２本を取り外してください。
  スプロケットカバーを取り外してください。
- ガイドバー取付ナット２個をゆるめてください。
- ソーチェーン張り調整ネジを左に回して、ソーチェーンの張りをゆるくしてソーチェーンを取り外してください。
- 周辺の切粉などを取り除き掃除をしてください。

ソーチェーンの取付

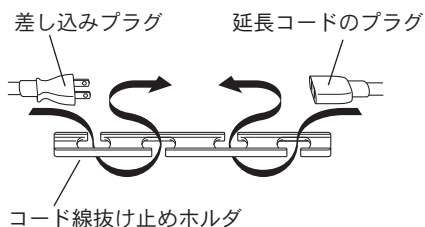
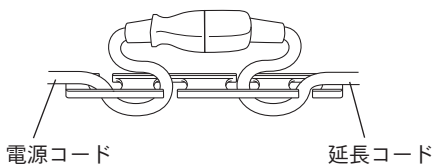
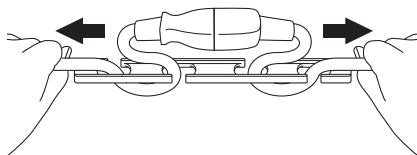
注 ソーチェーンの刃の方向を確認してください。正しいソーチェーンの取付方向はガイドバーに表示してあります。（逆向きに付けた場合、チェーンソー本体が激しく振動するだけで、木をきることはできません。）

- ドライブスプロケットにソーチェーンをかけ、ガイドバー先端に向かって溝にソーチェーンをかけてください。

正しい使い方（つづき）

●調整ネジに付属しているプルナットをガイドバーの取付穴にはめこんでください。
●ソーチェーン張り調整ネジを右に回してソーチェーンを張ってください。
●スプロケットカバーを取付けてください。

ソーチェーンの調整
「①ソーチェーンの張り調整方法」の項を参照して、張り調整を行なってください。

⑩コード線抜け止めホルダの使用方法
（HC-255Aのみ付属）

●使用中に差し込みプラグから延長コードが抜けるのを防止します。

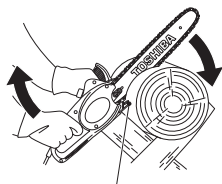
●コード線抜け止めホルダの４つの穴に電源コードと延長コードを図の矢印のように通してください。
●差し込みプラグと延長コードのプラグを接続してください。

●コード線抜け止めホルダの４つの穴に電源コードと延長コードが図のように通してあり、差し込みプラグと延長コードのプラグがしっかりと接続してあることを確認してください。

●電源コードと延長コードを図のように軽く引っ張り抜けのないことを確認してください。

□上手な使い方

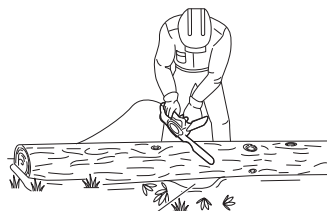
⚠警　告

- **樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は、法、規則で定める特別教育や講習などの適切な指導を受けたうえで行なってください。**
  安全に対する知識の無い方が、上記の作業をすると、けがの原因になります。
- **（事業者の方へ）樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は法、規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。**
  （関連法令：労働安全衛生法　第59条3項、安全衛生特別教育規程　第10条の2、
  労働安全衛生規則　第36条8号の2）

⚠注　意

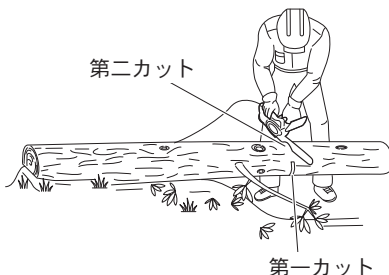
切り口からチェーンソーを抜くときは途中でモーターを止めないで、最高速で回転している状態で抜いてください。けがの原因になります。

①大きい材料を切断する場合、爪を材料に当てて、そこを支点にしてテコ運動をしながら、切断してください。

爪を材料に当てる

②丸太が全長にわたって地面などに横たわっている場合。丸太は上の方向から切ってください。
このような場合ソーチェーンが直接地面に接触しないように、まくら木を下に敷いたり、地面の一部を掘ったりして十分な空間を設けるようにしてください。

十分な空間を設ける

③片方を支持した丸太の場合
- ２回にわけて切断します。
- 最初のカットは丸太の下側から行ないます。この最初のカットはガイドバーの上側で行ないます。丸太の直径の1/3位まで切ります。

  注このカットをすることにより、切断時の丸太の断裂を防止できます。
- 第2のカットは第1カットの真上から行ないます。第1カットに達するまで下に切り込みます。

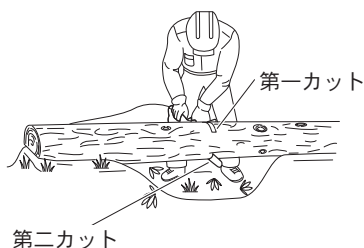
  注下に切り込むことによりガイドバーが丸太に挟まれるのを防止します。

正しい使い方（つづき）

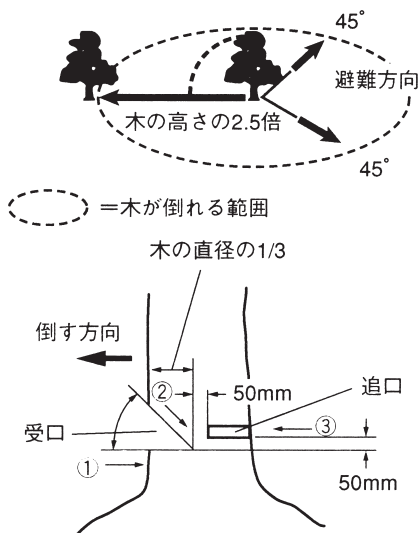
④両方を支持した丸太の場合

- ２回にわけて切断します。
- 最初のカットは丸太の上側から行ないます。丸太の直径の1/3位まで切ります。

注 このカットをすることにより、切断時の丸太の断裂を防止できます。

- 第2のカットは丸太の下側から、第1カットの真下から行ないます。このカットはガイドバーの上側で行ないます。第1カットに達するまで上に切り込みます。

注 上に切り込むことによりガイドバーが丸太に挟まれるのを防止します。

⑤自然樹（幹・枝など）を切断する場合

- 切り倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考慮し、倒す方向、避難する方向を決めます。
- 切り倒す木の周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。切り倒す木が斜面にある場合は、安全な足場を確保してください。
- 図のように切り倒す方向に直径の1/3程度の切り込みを①、②の順に入れ受口を作ってください。
- 受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口を切り込んでください。

- 追口の切り込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。
- 木が所定の方向に倒れそうもない場合やソーチェーン、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したり、ソーチェーン、ガイドバーが挟まれないようにしてください。

お手入れのしかた

□点検・手入れ

⚠ 警　告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いておいてください。

①本体はきれいに

●外面は石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、灯油は変形の原因になるので使用しないでください。

②定期的に点検を

以下について定期的に点検してください

●各部取付ネジのゆるみがないか、ヒビ、割れがないか。

●ソーチェーンの張り、刃先の状態はどうか。

●チェーンオイル残量、給油状態はどうか。

□保管場所について

①次の場所には保管しないでください。

●お子様の手が届いたり、持ち出せる所。

●軒先など雨がかかったり、湿気のある所。

●直射日光の当たる所。

②保管の方法

●使用後のお手入れをしてください。

・ソーチェーンに付着した切くずを歯ブラシなどで払い落としてください。

・ソーチェーンが錆びないようにチェーンオイルを塗ってください。

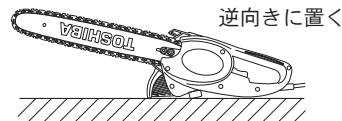
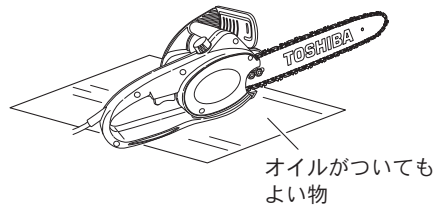
●チェーンカバーを取付けてください。

●本機は構造上、チェーンオイルがわずかずつ漏れますので、以下の方法で保管してください。

・チェーンオイルを抜いてオイルタンクキャップをしっかり閉める

・本体の下に、オイルがついてもよい物を敷き、本体を逆向きに置く

注 オイルタンクキャップがゆるんでいるとチェーンオイルが漏れやすくなります。オイルタンクキャップはゆるみがないよう閉めた状態で保管してください。また、上記の方法でも構造上チェーンオイルが漏れる場合がありますので、保管場所には十分注意してくだい。

オイルがついてもよい物

□修理のときは

●本機の修理はご自分でなさらないで、お買い求めの販売店または弊社営業所もしくは、全国各地の東芝電動工具サービスショップにお申しつけください。

修理の知識や技術のない方が修理されますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。